

発行所 株式会社 FPシミュレーション 大阪市中央区農人橋1丁目4-31 MRマエカワビル603  
TEL:06-946-8011 FAX:06-946-8727

## 架空借入れによる脱漏所得を重点調査

税務当局ではいま、不況に強い現金業種や全法人の半数以上を占める赤字法人に対して、重点的な調査を展開しているが、最近これら法人による、いわゆる架空借入れの計上を利用した所得の脱漏が目立っているため、特にマークしている。

小売業、料理・旅館・飲食業、パチンコなどの「現金取引業」では、日々の取引を現金で決済していることを利用した売上除外等がかなりの頻度で見受けられるという。そのため特に税務署所管の現金取引法人については積極的な調査が行われている。昨年9月に開かれた全国課税部長会議においても、店舗展開の著しいパチンコやクラブなどを中心に調査を徹底させていく方針が確認されている。

最近注目されている脱漏所得の不正事例は、いずれも小売業、バー・キャバレーなどの現金取引法人によるもの。売上除外、架空仕入れの計上、売上・仕入れの両落とし、等により多額の所得を脱漏し、いったん簿外の預金口座に入金した後、あらためて代表者からの借入金としてバックするものだ。

要するに簿外資産を、借入金という、いわばオープンなルートに乗せる手口で、特に仮装赤字法人に顕著なケースとされている。

それだけに、代表者や同族関係者からの高額な借入金を計上しているようなケースなどについては、今後重点的なチェックが行われることになりそうだ。

## 最近読んだ面白い本 (続き)

「大不況サバイバル読本」 浅井 隆著  
徳間書店出版

デフレの大不況に勝ち抜くためにはどうすればよいか。

- ① スtockからフローへの転換
- ② 株、不動産を所有するより金(現金)を持つ方がよい
- ③ 不動産投資は避ける
- ④ 借金はできる限り少なくする
- ⑤ 保険には十分入っておく
- ⑥ 輸出入は控える
- ⑦ キャッシュマネジメントを最重要視する
- ⑧ 在庫は減らす
- ⑨ 手形取引は減らす
- ⑩ ガンバリズムから知恵の時代へ

尚、参考までに今回のバブル崩壊後に出店件数を伸ばした業種は、コンビニエンスストア、和風のファーストフード、スタンドコーヒー、薬品ドラッグストア、居酒屋パブ、ゲームセンター、パチンコ店などであり、逆に出店件数が落ち込んだ業種は、食堂レストラン、婦人服・婦人洋品店、家電製品販売店、弁当寿司等のテイクアウト店、カラオケボックス、AV、CDレンタル店などである。

ここ数年、小企業が急成長できる大きなチャンスでもある。

以上をヒントにして1994年を乗り切っていただきたい。